

昭和34年7月27日第三種郵便物認可 毎月1回1日発行
令和4年5月25日印刷 令和4年6月1日発行 第64巻第6号 通巻第751号

ちから ぺんのか

美しい文字・個性的な書



令和4年度第1回昇格・昇段試験課題発表

専攻コース

規定課題

(会友・準会友) 月例課題
(八段〜六段) 昇格・昇段課題

※左の「九成宮醴泉銘」の「壑爲池」から「仰視則造遷」までをへんで臨書しなさい。



〔原文〕 壑爲池。跨水架楹。分巖竦闕。高閣周建。長廊四起。

棟宇膠葛。臺榭參差。仰視則造遷(百尋)。

(参考手本は次ページ)

〔読み〕

壑を(絶ちて)池と爲し、水に跨がりて楹を架し、巖を分かちて闕を竦やかす。高閣周り建ち、長廊四に起こり、棟宇膠葛として、台榭參差たり。仰ぎ視れば則ち造遷たること(百尋)。

〔出典〕

九成宮醴泉銘

〔大意〕

谷を堰きとめて池を作り、水を跨いで橋をかけ、岩山を分けて宮門を聳やかす。高閣はめぐりたち、長廊は四方に走り、様々な建物がはるかに続き、高殿が高低入り乱れて建つ。仰ぎ見れば、その高く聳えるさまは百尋ばかりである。

※尋：両手を広げた長さ。古代中国では八尺。日本

では五〜六尺。



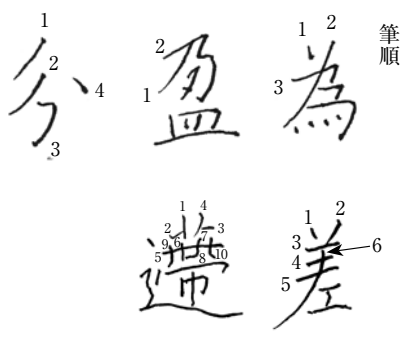
用具 つけペン、万年筆またはデスクペン（ボールペンは不可）、インクは黒色
 用紙 ペンの力用紙A型（B型も可）
 ※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

堀津節子臨
 （つけペン）

〔解説〕

九成宮醴泉銘は初唐三大家の一人である欧陽詢七十六歳の楷書で、字形豎長で背勢、結構正整で峻厳、用筆は清勁で沈着、品のある妙境の作である。

〔文字解説〕



専攻コース

規定課題

(五段〜初段II昇段課題)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

加藤 玲子 書

(つけペン)

行春や鳥啼魚の目は泪是を矢

立の初として行道なをすまはず

人々は途中に立ちあがりびて後かけ

のみゆるし迄はと見送なるべし

〔読み〕

行春や鳥啼魚の目は泪是を
矢立の初として、行道なをす
まはず。人々は途中に立ちあ
がりびて、後かけのみゆるし迄はと、
見送なるべし。

〔作者〕 松尾芭蕉

(二六四四〜一六九四)

〔出典〕『奥の細道』

〔大意〕

「春が過ぎ去るのを惜しんで鳥は啼き、魚も目に涙を浮かべているようだ」これをこの旅で詠む第一句として出発したが、行く道はやはり足が進まない。私たちを見送ってくれる人たちは、途中まで立ち並び、後姿が見える間は見送ってくれるのだろう。

〔解説〕

漢字はわかりやすい行書にします。しんにょうが多いですからいろいろな書き方をしてみましょう。

常用体	常用体
春	春
鳥	鳥
魚	魚
是	是
初	初
途	途
後	後
筆写体	筆写体
春	春
鳥	鳥
魚	魚
是	是
初	初
途	途
後	後

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン
(ボールペンは不可)、インクは黒色
用紙 ペンの力用紙A型(B型も可)

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

専攻コース

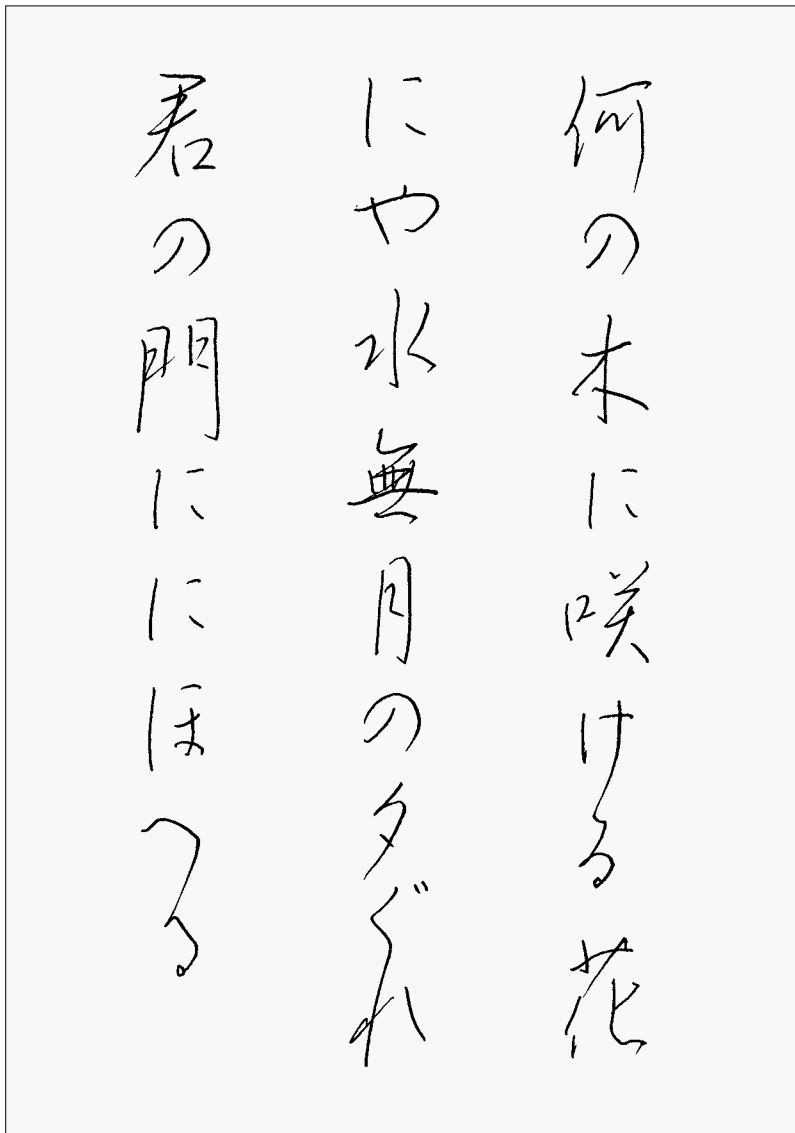
規定課題

(1級 || 昇段課題)
2級 ~ 5級 || 月例課題)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

堀津節子書

(つけペン)



〔読み〕 何の木に咲ける花にや水無^{みなつき}月の夕ぐれ君の門にほる

の門にほる

〔作者〕 木下利玄(一八八六〜一九二五)

〔大意〕 六月の夕暮れ時、何の木の花からだろう

か、君の家の門から良い香りがしている。

〔解説〕 かなの上下の形により連綿として収まり

にくい場合もあります。慣れるまではム

リなく続ける形から始めましょう。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン(ボールペ

ンは不可)、インクは黒色

用紙 ペンの力用紙G型

※バーコード出品券と月別出品券(A)の2枚を貼って出品してください。

〈解説〉

(いろいろな書きぶり)

何 何 何 何 水 水 水 水 君 君 君 君
咲 咲 咲 咲 無 無 無 無 門 門 門 門
月 月 月 月 月 月 月 月 心 心 心 心

〔連綿の注意点〕

上の文字の収筆から※印まで一文字のように続ける

け ※ ぐ ※ へ ※ づ ※

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

福原 溪春 書

(つけペン)



〈解説〉

知 積 水 不 可 極 安

あける しょかり 食い込む

方向の変化

筆写体

知 積 水 不 可 極 安

知 滄 海 東

〔原文〕積水不可極 安知滄海東

〔読み〕積水極む可からず安んぞ滄海の東を知らんや

〔作者〕王維（六九九〜七六一）

〔大意〕広々とした海の果ては、極めようもない。東の

海のさらに東、君の故国のあたりのことなど、

どうして私たちに知ることができようぞ。

〔解説〕

○遣唐使に従って中国へ渡ったまま、唐の官僚

となった阿倍仲麻呂が日本へ帰ることにな

り、送別の宴が開かれた時の作。

○なお仲麻呂の船は帰国の途中、風波のため遭

難が伝えられ、李白が死をいたむ詩を作っ

ている。

○しかし彼の船はベトナムのあたりに漂着し、

彼はまた長安に戻って官僚となり、中国で

亡くなった。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン（ボールペ

ンは不可）、インクは黒色

用紙 ペンの力用紙G型

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って

出品してください。

基礎コース

規定課題

(五段く初段II昇段課題)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

宮田 須美子 書

(デスクペン)

明月院は、もとは北条時宗の建てた
 禅興寺の塔頭のうちのひとつだった。
 境内を埋めつくす紫陽花が美しい。

〈解説〉

常用体
 筆写体

興—興興
 塔—塔
 花—花
 美—美

〔読み〕 明月院は、もとは北条時宗の建てた禅興寺の塔頭たっちゆうのうちのひとつだった。

境内を埋めつくす紫陽花が美しい。

〔出典〕 『マップルガイド『鎌倉』昭文社より

〔解説〕 ※塔頭：大寺に所属する別坊。わきでら。

※禅興寺は、かつて神奈川県鎌倉市山ノ内に存在し、明治元年に廃寺となった臨済宗の寺院。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン、ボールペンも可 インクは黒色
 用紙 ペンの力用紙3行書き

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

基礎コース

規定課題

(1級〜昇段課題
2級〜5級=月例課題)

※下の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

加藤 玲子 書 (デスタクペン)

同じ苦しみで悩んでいる者は、
互いに同情する念が深い。

↑ここに貼る↑

月別・バーコード券

Handwriting sample with stroke order annotations:

- 同: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- じ: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- 苦: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- し: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- み: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- で: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- 悩: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- ん: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- で: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- い: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- る: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- 者: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- は: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- 互: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- に: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- 同: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- 情: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- す: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- る: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- 念: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- が: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- 深: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- い: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)
- 。: 1 (left vertical), 2 (right vertical), 3 (top horizontal)

〈読み〉 同じ苦しみで悩んでいる者は、互いに同情する念が深い。〈出典〉 ことわざ・同病相憐れむ
 〈解説〉 漢字とひらがなのバランスは、漢字10の大きさに対しひらがな8ぐらいを目安にしますが、文字自体の大きさもありますから書き慣れて調子をつかみましょう。

用具 つけペン、万年筆またはデスタクペン、ボールペンも可 インクは黒色 用紙 ペンの力用紙2行書き

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

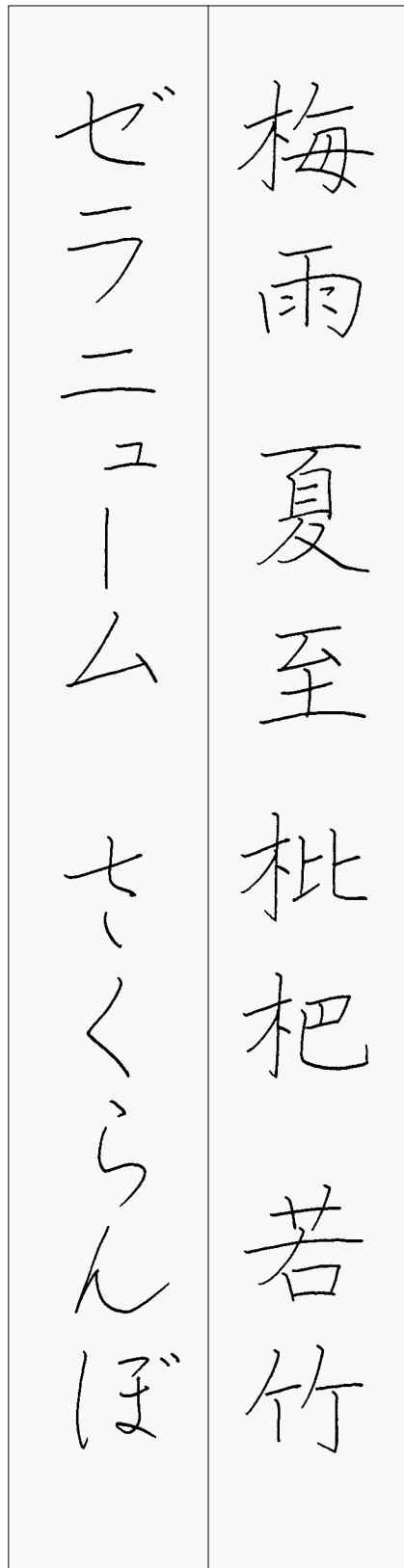
基礎コース

規定課題

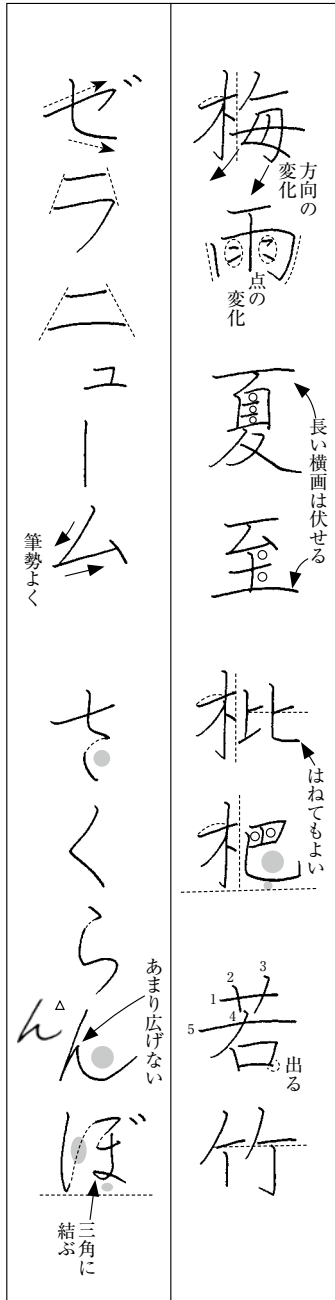
(6級～10級)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

福原 溪 春書 (つけペン)



〈解説〉



〈読み〉

梅雨 夏至 枇杷 若竹

ゼラニウム さくらんぼ

〈出典〉

『最新 俳句歳時記』

「ゼラニウム」…赤い五弁花で和名は「天竺葵」。

※運ペンは手首を固定せずに、ペンを大きく動かすと伸びやかな線が引けます。

中心を意識してまとめましょう。

用具

つけペン、万年筆またはデスクペン、
ボールペンも可 インクは黒色

用紙

ペンの力用紙2行書き

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

随意課題

つけペン

専攻コース（1級〜10級）
基礎コース（全員）

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。
用紙を縦にして縦書きとしてください。

堀津節子書

〈読み〉

絶頂ぜつていの城たのもしき若葉かな

〈作者〉

与謝蕪村

（一七一六〜一七八四）

〈大意〉

若葉に囲まれて山頂に聳え立っている城の姿は、とても頼もしく感じられた。

〈解説〉

○ 上部は漢字が多くなっていますが、下方はかなと余白でパランスをとり書いてみる。

○、つ（変体がな）

可

用具

つけペン、万年筆またはデスクペン
インクは黒色
ボールペンは不可

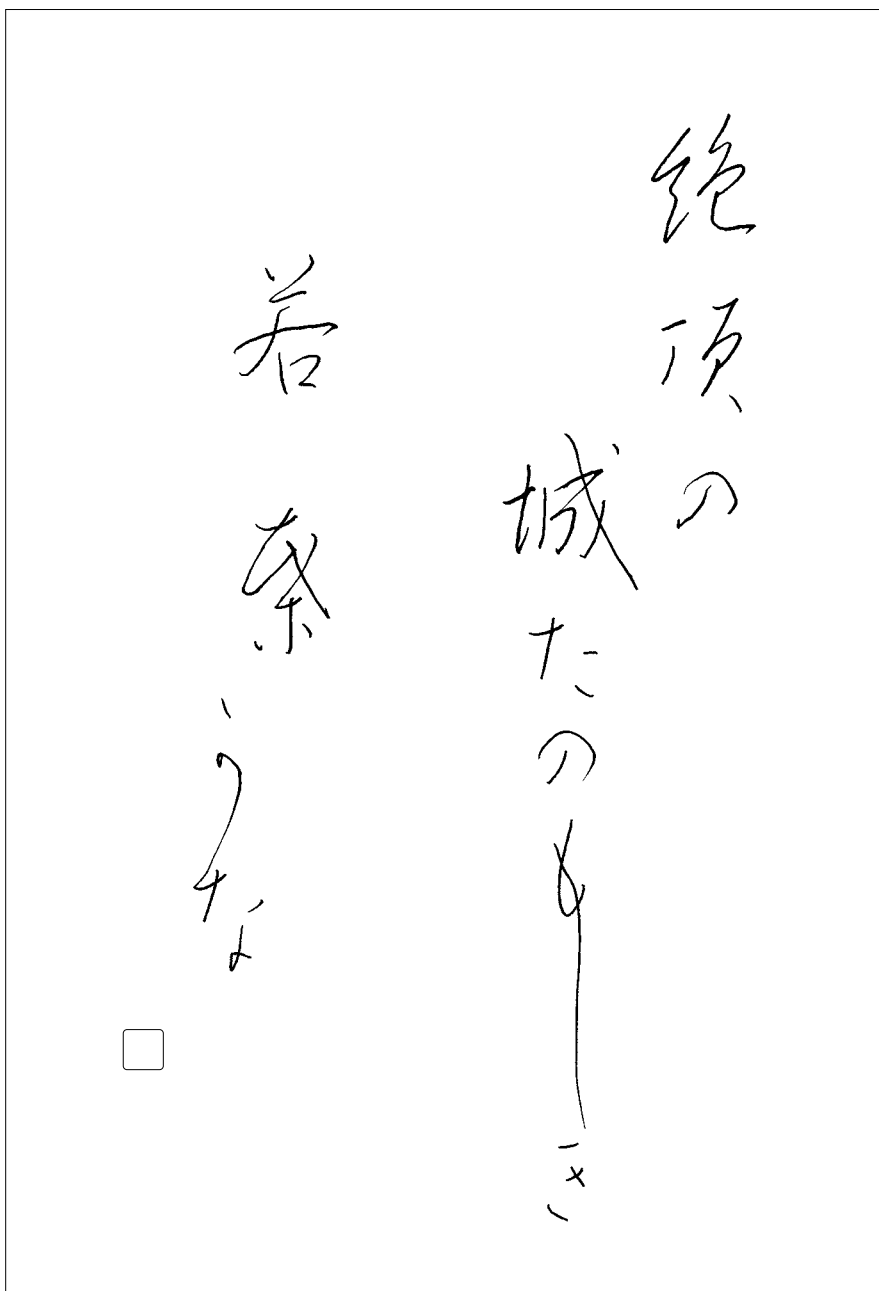
用紙

べんの力用紙A型

※規定コースの段級を必ず記入してください。

記入のないものは段級不明となります。

※バーコード出品券と月別出品券◎の2枚を貼って出品してください。



専攻コース（1級～10級）・基礎コース（全員）

※下の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

小島鳳治書
(毛筆タイプ)

〔解説〕
用具
用紙

横書の揭示文です。左右のアキ具合を揃え、数字やカタカナもていねいに書いて美しく仕上げましょう。
筆ペン（毛筆タイプ） インクは黒色
B4判（タテ36・4cm・ヨコ25・7cm）を縦長にする。
下欄の不二教室名・段級・氏名のわくは、A型用紙のものを貼るか、筆ペン用紙をお求めください。
（作品には不二教室名・段級・氏名を必ず明記してください）。

楓月マンション居住者の皆様へ 自転車廃棄処分 のご案内（無料）

駐輪場整理のため無料で行います
希望の方は下記へ移動をお願いします

不明な点は管理人まで

〈廃棄処分自転車〉

○移動日 6月25日(土)と
26日(日)15時まで

○移動先 当マンション
エントランス前広場

楓月マンション管理組合

教室名	段級	氏名(姓)	氏名(名)	級
-----	----	-------	-------	---

※規定コースの段級を必ず記入してください。記入のないものは段級不明となります。

※バーコード出品券と月別出品券®の2枚を貼って出品してください。

随意課題

ボールペン

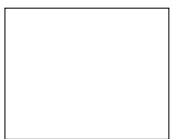
専攻コース（1級～10級）・基礎コース（全員）

※下の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

※規定コースの段級を必ず記入してください。記入のないものは段級不明となります。
※パーコート出品券と月別出品券⑤の2枚を貼って出品してください。

郵便はがき

4890045



瀬戸市陶本町九一六
蔵土麻沙様
名古屋西区花菱五一八
かたや寮 A-103
素川 晋

4510D62

先日は過分なる御祝をありがとうございました
いただきました 営業部の先輩からの
助言で靴を新調させていただきました
致しませう 名古屋支社に配属が
決まりましたので、たまにこちらにも
寄らせていただきたいと思います

小島 鳳 浴書（ボールペン）

〈読み〉先日は過分なる御祝をありがとうございました 営業部の先輩からの助言で靴を新調させてい
たことに致します 名古屋支社に配属が決まりましたので、たまにこちらにも寄らせてください
〈解説〉二行になる住所は行頭を揃えてもよいですが、長さや切れ目など臨機応変にバランスよ
く収めてください。

用具 油性ボールペン（水性でもゲルインクでも良い） インクは黒色 用紙 べんのか用紙C型

↑ここに貼る↑

月別・パーコート券

ボールペン（横書き）

つけペン（和歌）

今一つ大切なことは、良き道友を得るということである。道元禅師のことばにも「衆に随って道を行ぜよ」とある。精進努力は一人では、なかなか難しいものであって、同志道友が相助け、互いに励ましあって楽しみを深めることができる。

↑ここに貼る↑

『犀水書話』41～42ページより

月別・バーコード券

水無月の山越え來ればをちこちの
木の間に白く栗の咲く見ゆ

筆ペン（揭示文）

介護者のつどい

介護をする方が元気で続けられるよう、情報交換の場として開催しています。大事なことは一人で抱え込まないことです。

日時 毎月第四金曜日
午前10時～11時半
場所 須賀川市役所七階会議室
定員 十人程度（参加費無料）
申込み 須賀川市社会福祉協議会
電話 七五―一二三四

不
教
養
氏
名
職
成

※規定コースの段級を必ず記入してください。
記入のないものは段級不明となります。
※バーコード出品券と月別出品券(㉔)の2枚を貼って出品してください。

〈大意〉陰暦六月の頃、百草山を歩いて行くと、あちらこ
ちらの木々の間から白い栗の花が咲いているのが
見える。
※牧水は南多摩郡七生村（現・日野市）の百草山に
一ヶ月間籠もり『獨り歌へる』の歌集の編纂をした。
その時に詠んだ歌。
〈作者〉若山牧水（一八八五～一九二八）

つけペン（短歌）

課題 右ページの短歌を、自分の書きぶりで体裁よく書き

なさい。（漢字・かなの書き換え自由・旧かなづかい使用のこと）

用具 つけペンまたは万年筆 デスクペン ボールペンは不可 インクは黒色

用紙 ペンの力用紙A型（B型も可）を縦に使用する。

ボールペン（横書き）

課題 右ページの文を横書きに、体裁よく書きなさい。

（書体自由）

用具 ボールペン 油性・水性どちらでも可 インクは黒色

用紙 ペンの力用紙A型（名前が左にくるように横にして書く。不二教室名、段、氏名は縦書きにする。）B型も可。

筆ペン（掲示文）

課題 右ページの掲示文を縦書きに、文字の位置や大きさを

考えて、体裁よく書きなさい。（漢字の書体は楷書または行書）

用具 筆ペン インクは黒色

用紙 ペンの力筆ペン用紙、またはB4版（約36・4cm×約25・7cm）コピー用紙を縦に使用。作品の下欄には、不二教室名・段・氏名を必ず明記すること。（そのわくは、A型用紙のものを貼ること）

◆七月号課題予告◆

【専攻コース】

会友く六段

『九成宮醴泉銘』より

五段く初段

卅日、日光山の麓に泊る。あるじの云けるやう、

「我名を仏五左衛門と云。万正直を旨とする故に、

人かくは申侍ま、一夜の草の枕も打解て休み給へ」と云。

1級く5級

四十雀頬のおしろいのきはやかに時たまたり庭に遊べる

6級く10級

九州何處遠萬里若乗空

【基礎コース】

五段く初段

円覚寺は一二八二年、八代執権北条時宗によって建立された。

開山は時宗が師とした宗の高僧、無学祖元である。

1級く5級

遠回りでも安全な道を取ったほうが結局は早い。

6級く10級

炎天 野馬追 月見草 パイナップル なつやすみ

※課題は変更になることがあります。